

ソプラノの皆様

土曜日はお疲れ様でした。

今週から演奏会まで、毎週練習日誌をお送りします。

それぞれ他のパートリーダーも書いてくれますので、全てのパートの日誌をホームページにアップします。よろしかったらご覧ください。

練習に参加された皆様も、復習にお役立てくださったら幸いです。

3月9日 芦原小 多目的室

S:10、A:14、T:2、B:3

○Ave Maria

- ・ 出だし テンポ感を自分で持って
- ・ 2声ずつですが、浅い響きにならないよう、温かく響かせて
- ・ リハーサル番号1からは特に祝福感を出して
- ・ mulieribus ソプラノ声区チェンジ丁寧に
- ・ リハーサル番号2 前半は精霊たちの声、4ページに入ったら、信者たち（自分たち人間）の願いの声とイメージして
- ・ リハーサル番号3 光が溢れ出す感じで積極的に歌っていく
- ・ リハ3番 5小節目からのクレッシェンド大切 特に7小節目 ora pro nobis はしっかりと
- ・ Nunc et in hora et で音が下がってボリュームや響きが抜けてしまわないように

○Ave verum corpus

- ・ 前回指示のあったように、6、14小節はディクレッシェンドしないで次の小節から2小節かけて小さくしましょう
- ・ 33小節からのダイナミクス（強弱や表現）をしっかりとドラマチックに
- ・ 39小節に入ったら急にディミヌエンドしないで、最初はそのまましっかり入り3拍目辺りから次の小節いっぱいかけて

○あなたのことを

○モーツァルト ミサ 全曲

Kyrie

- ・ 16部音符お腹でしっかり支えて
- ・ アクセントスタッカート 短すぎず響かせて

Gloria

- ・ 19~22小節 壮大に propter magmam 「m」 しっかり
- ・ 38~41小節 p ですが、しっかり響かせて

Credo

- ・ 出だし ソリストの先唱の後、2拍のみの指揮の合図で入ります

Sanctus

- ・ 出だし リズムをしっかりイメージして入る 伴奏のビート感をしっかり感じて乗っていきましょう

Benedictus

- ・ 歌い出し遅れない
- ・ 77小節 最後の sis Sanatus と違い1拍です。この曲ではゆっくり伸ばさず、しっかりと言い切るつもりで

Agnus dei

- ・ qui tollis の qui クイと二つに分けてゆっくり発音せず、文字で書くならクイーに近く、二重母音が重くならないように
- ・ 36~39 (レガートに)、40~46 (花火を打ち上げるように一つ一つしっかりお腹を使ってリズムカルに)、47~50 (レガートに)、50~54 (40~と同様)、それぞれの違いをしっかりと歌いわけて
- ・ 62小節からの p は、最後なのであまり弱くしないで、ラストしっかり歌い切る

○はじまり

- ・ ソプラノ 出だしの la の音 しっかり当てて響きを持って

○雨

○花

○温かいシチュー

- ・ 楽譜に記載通りの速さになりました
- ・ 14、15小節のかきまわせ は丁寧に mf で。それに対し 21小節からは f で盛大に。
- ・ 32小節~ 「あなたのみまもるなかで ねかせておやり」はレガートで温かく、「こんやも/あすも/そのつぎのひも」は、一言ずつしっかりと力強く
- ・ 86小節~ mp から f のクレッシェンドしっかりと

次週は「アルデバラン」からです。

それではまた土曜日、よろしくお願いいたします！

稲垣朋子